

新規事業への挑戦

エネルギー分野および非エネルギー分野における社会課題の高まりに対して、「グループ総合力」という強みを活かしつつ、イノベーションをさらに加速することで、新規事業を創出して幅広く解決策を提供します。当社グループはイノベーションを「新事業、新サービスを生み出す力」と「既存事業のオペレーション変革力」の両方が優れていること、「イノベーションが自律的かつ持続的に巻き起こせる仕組み（システム）」が確立されていることと定義しており、これらを推進するための体制強化や仕組みの構築をおこなっています。

イノベーションに向けた社外連携・体制強化

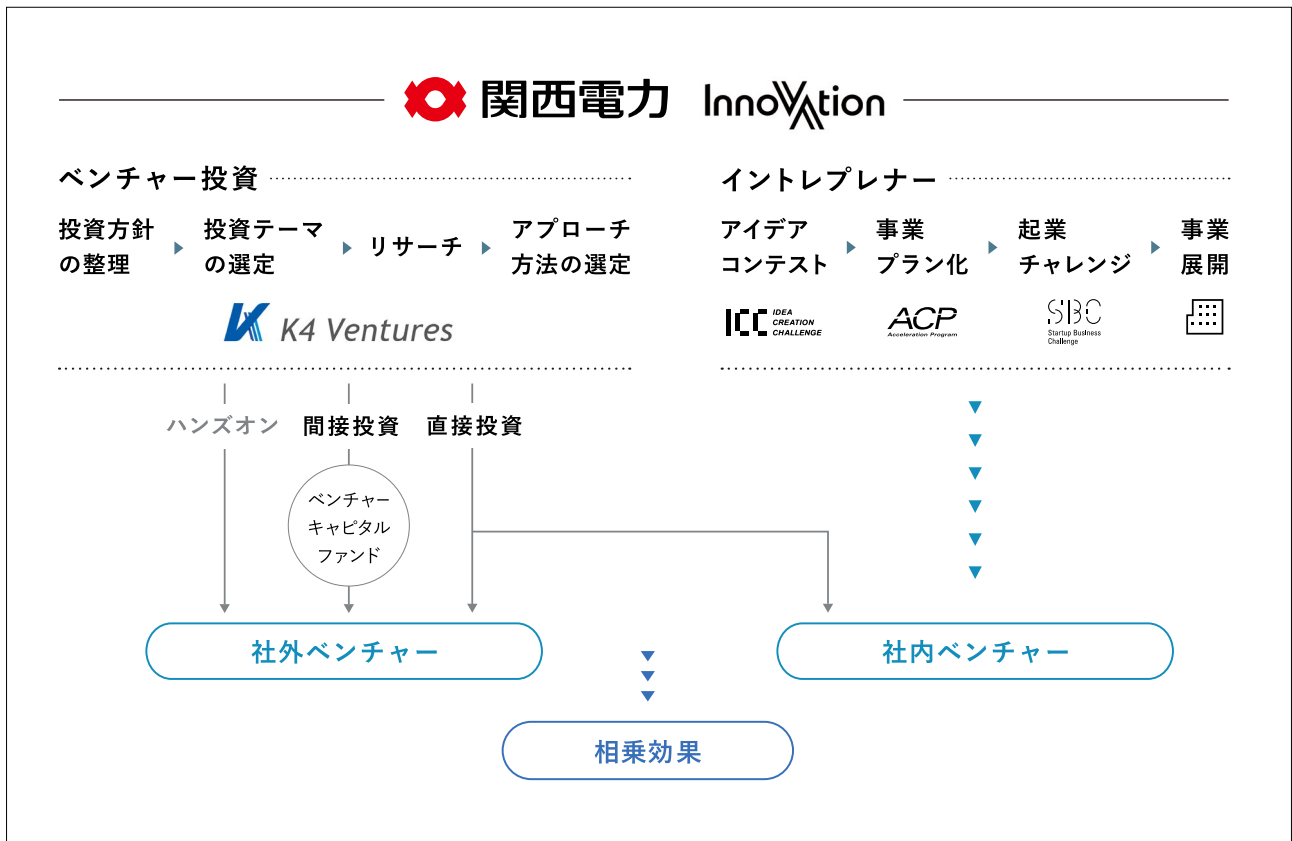
2019年7月1日付で実施した組織改正にて、グループ総合力という強みを活かしつつ、イノベーションをさらに加速するためのイノベーションハブとして経営企画室に「イノベーションラボ」を設置しました。

「イノベーションラボ」では、グループ全体のイノベーションの推進や総合調整・舵取りを担うことに加え、社外ベンチャー企業とも連携しながら、エネルギー分野はもとより非エネルギー分野においても新規事業・サービスの創出を一層加速させていきます。

イノベーションラボのユニット設置

エネルギー分野では電気自動車（EV）の普及や「3D+D（脱炭素化、分散化、デジタル化+電化）」の実現に向けて新たなインフラの充実をめざします。

非エネルギー分野では「社会インフラ」「文化・エンタメ」「農業・食料」「ライフデザイン」の領域におけるお客さまが抱える課題をはじめ、需要が限定的な領域までカバーしつつ社会課題解決の貢献に向けた事業開発活動を展開しています。



WEB 詳細は... [イノベーションラボ](#)

(同) K4 Ventures

当社グループでは、革新的な技術やビジネスモデルを有するベンチャー企業との連携を強化するため、(同) K4 Ventures (以下K4V) を投資主体とし、個別のベンチャー企業に対する直接投資とベンチャーキャピタルファンドに対する間接投資をおこなっています。K4Vは出資を通じて有望なベンチャー企業の成長を支援し、当社や当社グループ会社との協業を推進していきます。



経営理念
ベンチャー企業と共に新しい領域、未知の領域に挑む

投資対象および投資分野

投資対象

- 総合エネルギー・送配電、情報通信、生活・ビジネスソリューションの既存事業領域において、協業により、双方の事業成長が見込めるベンチャー企業
- 当社グループの新事業領域において、革新的な技術・ビジネスモデル等を有するベンチャー企業

投資分野
蓄電池、モビリティ、ロボット、AI、IOT、ビッグデータ、農業・食料、文化・エンタメ、社会インフラ、ライフデザインなど

対象ステージ

基本的に全ステージ対象



投資実績

【間接投資】

発表日	投資先
2018. 6.20	EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合
2018. 9.19	Scrum Ventures3号ファンド
2019. 9.10	Global Catalyst Partners Japan2号ファンド
2020. 2.28	Future Food Fund1号ファンド

【直接投資】

発表日	投資先
2018. 5. 7	Ubie 株式会社
2018.11. 1	株式会社VPP JAPAN
2018.12.28	株式会社SIRC
2019. 3. 1	エディットフォース株式会社
2019. 4.12	CONNEXX SYSTEMS 株式会社

2019. 4.15	NExT-e Solutions株式会社
2019. 5.23	ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
2019. 6. 5	株式会社Space Power Technologies
2019. 7.12	ヒラソル・エナジー株式会社
2019.10.31	エクセルギー・パワー・システムズ株式会社
2020. 6.29	インフォメティス株式会社
2020. 9.30	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
2021. 3. 2	Okage 株式会社
2021. 3. 8	テラスマイル株式会社

イントレプレナー(社内起業家)創出制度

当社グループ社員が新規事業案件を提案し、審査に合格すると事業化ができる「かんでん起業チャレンジ制度」を1998年から運用しています。2018年以降から新規事業のアイデアを出しあうコンテストである「アイデア創出チャレンジ」と、アイデアを事業プランまで高める「加速支援プログラム」を追加し、社内起業を3ステップで支援する制度を強化・推進しています。

かんでん起業チャレンジ制度では、2021年6月末時点で9件を事業化し、そのうち4社が事業を続けています。

〈事業継続中の企業〉

- 2020年 2月設立 (株)猫舌堂
- 2019年10月設立 TRAPOL(同)
- 2004年 9月設立 (株)気象工学研究所
- 2000年 1月設立 (株)かんでんエルファーム

“eモビリティ”ビジョンを制定

モビリティユニットでは、EV(電気自動車)普及とインフラ整備に取り組み、社会課題の解決に貢献することをめざし、2019年10月、“eモビリティ”ビジョンを制定しました。脱炭素化・分散化・デジタル化に電化を加えた“3D+D”という流れのなかで、EVは重要な役割を担うと考えています。EVに必要なとなるインフラの充実やお客さま起点のサービスのお届けを通じて、その普及を加速し、EVを核とした新しいモビリティ・システムを備えた“eモビリティ社会”の実現に向けて取り組んでいきます。



新規事業への挑戦

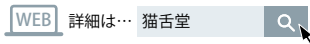
(株)猫舌堂

かんでん起業チャレンジ制度を通じて、2020年2月に設立。猫舌堂は、元看護師である代表の柴田が、自身のがん経験により食べることへのバリアを実感したことから、同じ境遇の仲間と一緒に起業した会社です。

どなたでも心地よく使えるオリジナルカトラリー（スプーン、フォーク等）の販売、および同じ悩みを抱える人が集いつながるコミュニティを通じて、食べる喜びを取り戻すきっかけをお届けしています。



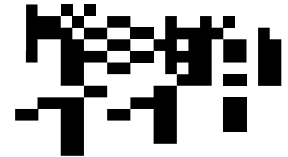
猫舌堂オリジナルカトラリー



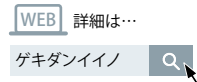
猫舌堂®

ゲキダンイイノ(同)

イノベーションラボから生み出された、時速5キロのモビリティサービスiinoを通じ、「Mobility」と「文化・エンタメ」領域とのクロスボーダーで事業を展開します。時速5kmだからこそ感じることでできる空間の演出、その場所でしか体験できないコンテンツの提供により、利便性のみならず、娯楽性や快適性も兼ね備えた、これまでにない移動を実現し、走行する場所の魅力をより一層引き立てることに貢献します。

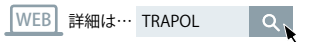


観光地等におけるラグジュアリー体験の「type-RJ」



TRAPOL(同)

かんでん起業チャレンジ制度を通じて、2019年12月に設立。旅行者と現地に住む人（ローカルフレンド）をつなげて「現地の暮らしに溶け込む」旅行サービスを個人向けに提供しています。旅を通して自分の足を使い、感性に従い、探求することで人間が感じる喜びの本質を、より多くの人に届けていきます。



TRAPOL

海幸ゆきのや(同)

当社が以前から研究していた光合成細菌を使った環境浄化技術を応用して、車エビに匹敵するうま味を持つバナメイエビを生産・加工し、「幸えび」のブランド名で販売しています。

完全閉鎖循環式の陸上養殖方式を採用しており、当社初の農業・食料領域における事業参入となります。



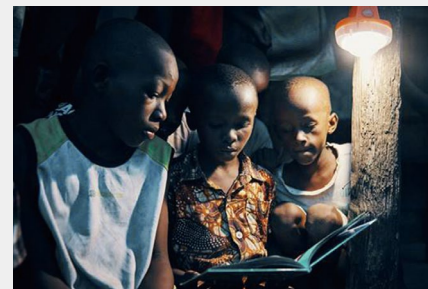
WASSHA

当社は、2019年8月にアフリカ未電化地域の人々にLEDランタンをレンタルするサービスを提供しているWASSHA株式会社(以下WASSHA)と業務提携しました。

WASSHAは、主にタンザニアの未電化地域において、キオスクと呼ばれる日用品を扱う販売店と提携し、各店舗に太陽光パネルや太陽光パネルから充電できるLEDランタンを設置することにより、サービスを提供しています。

当社は、ランタン等の機材を調達し、WASSHAへ貸与する役割を担っています。WASSHAは現地でキオスクの提携数を増やし、当社から貸与された機材を店舗に導入することで、事業の拡大を図ります。

当社は、これまでの電気事業で蓄えた知見やノウハウを、当該事業の拡大や当該事業を通じたさらなる価値創造の検討に活かしていきます。



LEDランタンの明かりで本を読む様子